

市民まちづくり会議・むさしの 2019年度 第1回定例会 議事録

日時：2019年7月12日（金）19:10~20:30

場所：商工会館3階講座室

出席者：南、山田、村井、内門、長谷川、梅川、竹山、高田（記録）

1. 6/22の古民家ウォッチング報告（山田）

HPに報告をアップしているのをご覧ください。

2. 景観勉強会 第2回（南）

秋口に実施を予定している。

現在検討が進められている長期計画において、書き換えてくれるかが今後の取組みのポイント
新しい事業に関する規制・誘導については述べられているが、既存の景観への対応は電線の地下埋設しか書かれていないのが問題。

3. 都市マス関係（南）

6/26役員会で会としての関与の仕方等を打合せて、まちづくり推進課と協議を進めている。

7/8にまちづくり推進課から仕様書が届いた。

現在、その内容について検討を進めているが、一言で言うと、やや過剰な要求（期待）となっている。

→本来、コンサルに委託するべきと考えられる項目まで含まれている

→コンサルの仕事を奪うような関わり方をすべきではないと考える

→市民参加に関わる領域を、より質の高いアウトプットにする点に関しては協力したい

→コンサルとの役割分担を明確化し、異なる立ち位置を取るべきである

会議としての意見をまとめて、市との再調整をする。

都市マス関連イベントとして「まちづくりを楽しむ基礎講座」を実施する。

座学+見学+ワークショップ

第1回は塩澤さん担当

7/27（土）13:00から 座学@プレイス 3階 スペースE

その後、7/28、7/29、8/1で現地調査

8/17にまとめ@商工会館3階講座室

告知は、下記 facebookページで行います。

https://www.facebook.com/matikouzamusashino/?modal=admin_todo_tour

当会のHPのトップページ (<http://matimati.or.jp>) の

右側のバナー「事業紹介」からジャンプできます。

4. 外環関係（村井）

7/26 作業部会（編集会議）が始まる。

都の担当は変わり、新しいコンサルになるとまた時間がかかる。

今までは市民の意見を整理した。今後は、東京都の意見等をピックアップして入れ込む作業となり、難航が予想される。

話し合いの会については、練馬区は終了し、杉並区はストップ、三鷹市は始まっておらず、武蔵野市のみ動いている。

中間まとめの段階で10年も行政と市民の話し合いが続いていることは、他に例がないのではないか。この中間まとめは重要だ。

話し合いの会メンバーは、全員反対としている。野川の泡など本線の様々な問題を解決できていない現状があり、メンバーから「外環の上に住めない」という意見もある。地上部街路が廃止となっても、本線が完成していたら、上部に住宅街が残るとは思えない。

協議会の総会に市会議員が多数参加しているが、市議会議員どのような動きをしているのか。意見書を出している会派もあり、反対が多いと思うが、積極的な動きはみられない。

話し合いの会が始まって10年が経ち、高齢化も進んでおり、編集会議作業部会メンバーと他のメンバーには温度差がある。中間まとめの成果を早急に公表し、地域住民の意見を聞く必要性を感じている。

都市マスと絡む問題だが現段階で書くのは難しい。

5. 長期計画関係（南）

何人かの会員が、意見交換会に出席して意見を述べた。

意見書を提出した会員もいる。

会として会員の意見を共有したほうが良いと考える。

意見書を提出した方は、差し支えなければ会員にも意見書を公開してもらいたい。

学識の委員は専門分野ごと分担して書いているが、二名の公募市民委員は、分野別分担には入っていないようだ。

第4期長期計画調整計画の策定委員会の運営方法とは異なるようだ。

当会が特に関心を持つ緑・環境や都市基盤について、構成や記述内容等に問題を感じる箇所がみられる。

6. 暮らしフェスタ2019関係（内門）

9/27（金）～9/28（土）に武蔵野プレイスで実施

今年度は篠原さんが「武蔵野市の空き住宅等の現状と対策」でレポート

7. 武蔵野市の住宅マスタープラン（内門）

専門委員→篠原さん

市民委員→内門さん応募中

住宅政策への出席者の意見

- ・防災 マンションの内部だけでやっているなど、地域との関わりが少ない
- ・管理組合はあるけど自治会はないマンションが大半

8. その他 情報提供

- ・平井医院の跡地について（竹山）
高齢者施設を市民と検討していて参加した。
市民委員募集する→時間切れで応募できなかった。
- ・日赤奉仕団 70周年の会が開かれた（竹山）
竹山さんが表彰された
- ・成蹊大学が扶桑通り沿いのブロック塀を解体している。成蹊大学が以前から道路との境界は生垣にするとしていて最後に残っていた。（村井）

次回は9/13（金）